

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
保健医療サービス		必修(社精) 選択(心)	2	2,3	前期
担当教員	研究室	電子メールID		オフィスアワー	
田中 結香	講師控室	kyoumu		授業終了後に質問等受付	
授業の目的・概要	<p><目的>保健医療分野における多職種連携の意義や、多職種の中での社会福祉士・精神保健福祉士の役割を学ぶことを目的とする。</p> <p><概要>教科書を中心に進めるが、順番が前後することもある。教科書に書かれている内容について、実際の現場での実践を例に説明したり、現場での写真や映像等も活用したりしながら内容をわかりやすくしていく。また、実践に即した課題も取り入れながら進めていく。印刷教材と同時双方向型の遠隔授業を活用していく。</p>				
学習上の助言	教員が説明するだけの一方通行の講義ではなく、学生の主体的な参加が必要となる。また、毎回課題を出すため、課題達成に向けた予習・復習することが望ましい。				
教科書	新・社会福祉士養成講座17 第5版 保健医療サービス/編：社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版				
参考書	新版 ソーシャルワークの業務マニュアル実践に役立つエッセンスとノウハウ 川島書店 医療ソーシャルワーカー業務指針・医療ソーシャルワーカーの倫理綱領、意思決定支援ガイドライン				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	保健医療サービスの歴史を捉え、現在の地域医療までの社会的背景が説明できる。			HSU(2)	
②	保健医療分野における多職種連携の必要性が説明できる。			HSU(2)、(4)	
③	保健医療サービスの専門職の役割と専門性の違いについて説明できる。			HSU(2)、社(2)	
④	医療ソーシャルワーカーの歴史・業務内容・役割が説明できる。			社(2)	
⑤	医療保険制度及び介護保険制度の概要が説明できる。			HSU(2)	
⑥	国家試験の問題を確実に回答することができる。			HSU(2)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション 講義概要・講義の進め方・評価方法等の説明をし、学生と重要事項の同意及び契約を行う。	印刷教材等での授業	保健医療サービスの概要(第1章)を読み、保健医療分野での社会福祉専門職の役割を理解する。	3	
2	【第1章】を中心に、保健医療サービスの概要を理解し、15回の講義をどのような流れで学んでいくのか全体を捉える。	印刷教材等での授業	医療分野における社会福祉専門職の必要な知識や役割について理解する。	3	
3	【第2章・第1、2、4、5節】 医療法と病院の種類、医療施設の機能、類型及び介護保険の施設や居宅サービスについて学ぶ。	印刷教材等での授業	医療法への理解を深め、各医療機関の種類や病床の違いを調べ、介護保険施設の種類も理解する。	3	
4					
5	【第4章・第1、3節】保健医療サービスに関わる各職種の専門性について学び、業務内容を理解する。	印刷教材等での授業	保健医療分野での多職種の違いや連携方法について理解しておく。	3	
6	【第3章】医療ソーシャルワーカーの歴史、業務内容、役割について学ぶ。また、医療ソーシャルワーカーの業務指針及び倫理綱領を理解する。	印刷教材等での授業	医療ソーシャルワーカーの歴史や業務内容を調べておく。業務指針や倫理綱領を読んでおく。	6	
7					
8	中間まとめ(保健医療の制度と歴史)併せて、第1回～第7回のフィードバックを行う。	同時双方向型授業	第1～7講のレジュメを振り返りまとめておく。	3	
9	【第4章・第2節】 患者の権利と意思決定支援の必要性について理解する。また、事例を活用し実際に行ってみる。	同時双方向型授業	意思決定支援ガイドラインを事前に読み、そのプロセスを理解しておく。	3	
10	【第5章・第1、3節】 医療保険制度と診療報酬制度の概要について学ぶ。	同時双方向型授業	医療保険制度の概要を理解しておく。介護保険制度を理解し、介護保険施設や事業の種類を区別して説明できるようにしておく。	3	
11	【第5章・第2節】 介護保険制度と介護報酬の概要について学ぶ。	同時双方向型授業			
12	【第2章・第3節】 地域包括ケアシステムについて理解し、在宅医療のための医療と介護の連携について学ぶ。	同時双方向型授業	地域包括ケアシステム構築に向けた医療と介護の連携指針を事前に確認しておく。	3	
13	【第6章、第7章】多職種連携の意義や地域医療の必要性について学ぶ。また、連携する機関や団体、組織について学び、社会資源も把握する。	同時双方向型授業	連携すべき機関や団体、組織や社会資源について事前に調べておく。	3	
14	視聴覚教材や事例を用いて、実際の医療ソーシャルワーカーの業務を学ぶ。	同時双方向型授業	実際の現場の映像から、社会福祉専門職の役割と意義を考える。	3	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

15	講義全体のまとめと試験対策及び意見交換	同時双方向型授業	わからない部分を明確にしておく	5				
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照							
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		50	0	0	0	50	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40	
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	25	25	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	25	25	
評価のポイント					フィードバックの方法			
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	講義で学んだ知識を確認します。 試験では、講義中に説明した内容やテキスト及び配布資料から必ず出題します。	試験の答案用紙は返却しません。 希望者には採点内容をお伝えします。その方法は講義中に説明します。				
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	毎回講義のテーマに応じた課題を講義中に出題します。その課題の取り組み状況や内容等を点数化して加点します。しっかりと課題に取り組んでいるかの姿勢や意欲を見ていきます。 さらに、随時講義の感想を記載してもらいます。その内容からしっかりと講義内容が理解できているかや講義への積極性も確認します。	質問事項や課題に対する回答について、必要な場合は次回の講義時に説明をしたり、メディアを使用し個別に回答します。				
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
備 考								
<p>○Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-fi 環境を推奨します。</p> <p>○今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得ます。</p> <p>○同時双方向型授業では講義中にフィードバックを行います。できない部分は個別に質問に返答する場合があります。</p> <p>○社会福祉士・精神保健福祉士取得希望者は必ず履修してください。</p> <p>教員の実務経験：在宅介護支援センター相談員・地域包括支援センター社会福祉士・MSW として合計 17 年の経験。</p> <p>実践的授業の内容：教員が実際に現場で担当している事例等を用いながら（個人を特定できないよう加工修正）、教科書の理論について現場の実践内容を踏まえて説明し、実践と理論の循環を意識して進めていきます。実際の現場の動きを映像として見たり、現場で活用している様式を使用して、実践と同じ感覚で事例検討会や記録の方法を体験していただく予定です。</p>								